

様式第 10

循環型社会形成推進地域計画改善計画書

地域名	構成市町村等名	計画期間	事業実施期間
宮城県	石巻市	H23.4～H28.3	H23.4～H28.3

1 目標の達成状況  
(ごみ処理)

指 標		現 状 (平成 年度)	目 標 (平成 年度) A	実 績 (平成 年度) B	実績 B / 目標 A
排出量	事業系 総排出量	t	t	t	%
	1 事業所当たりの排出量	t	t	t	%
	生活系 総排出量	t	t	t	%
	1 事業所当たりの排出量	kg/人	kg/人	kg/人	%
	合 計 事業系生活系総排出量合計	t	t	t	%
再生利用量	直接資源化量	t	t	t	%
	総資源化量	t	t	t	%
熱回収量	熱回収量 (年間の発電電力量)	MWh	MWh	MWh	
最終処分量	埋立最終処分量	t	t	t	%

※目標未達成の指標のみを記載。

(生活排水処理)

指 標		現 状 (平成21年度)	目 標 (平成28年度) A	実 績 (平成28年度) B	実績 B / 目標 A
総人口					—
公共下水道	汚水衛生処理人口				%
	汚水衛生処理率又は汚水処理人口普及率	%	%	%	%
集落排水施設等	汚水衛生処理人口	6,796	4,954	4,333	87.5%
	汚水衛生処理率又は汚水処理人口普及率	4.2%	3.2%	2.9%	1.3%
合併処理浄化槽等	汚水衛生処理人口	15,269	14,989	13,571	90.5%
	汚水衛生処理率又は汚水処理人口普及率	9.3%	9.7%	9.2%	-0.3%
未処理人口	汚水衛生未処理人口				%

※目標未達成の指標のみを記載。

## 2 目標が達成できなかった要因

東日本大震災で津波の被害が大きかった漁業集落排水地域、合併処理浄化槽地域での人口流出の影響が大きく、集落排水施設としては農業集落排水と漁業集落排水があるが、汚水衛生処理人口はそれぞれ、以下の通りである。

目標 農業集落排水処理人口（処理率）：4,359人（2.8%）、漁業集落排水処理人口（処理率）：595人（0.38%）  
実績 農業集落排水処理人口（処理率）：4,298人（2.9%）、漁業集落排水処理人口（処理率）：35人（0.02%）

農業集落排水は処理率で目標を上回っているが、漁業集落排水が目標を大きく下回っている。平成28年度末の漁業集落排水地域の人口は50人であり、人口の減少から漁業集落排水処理人口個別での汚水衛生処理人口の目標達成は現実的ではなかった。

浄化槽区域では、震災前に15,000人ほどであった汚水衛生処理人口が震災後に5,000人ほど減少しており、震災後に仮設住宅や新築が数多く建設されたが、目標の達成は困難であった。

## 3 目標達成に向けた方策

**【集落排水施設等】** 目標達成年度 平成31年度まで

集落排水に関しては、漁業集落排水区域は人口の減少が著しく、個別に目標達成はほぼ不可能であり、農業集落排水との合計で汚水衛生処理率の達成を目指す。農業集落排水は受け入れ停止していた新規接続を平成28年1月から受け入れ開始しており、新規接続が徐々になされているところである。このことを周知することにより農業集落排水地域の汚水衛生処理率の向上を促し、漁業集落排水地域の復興事業が進むことにより人口の増加が見込まれ汚水処理人口の向上が見込まれる。

**【合併処理浄化槽等】** 目標達成年度 平成29年度まで

合併処理浄化槽に関しては、設置補助事業の周知徹底と震災復興が相まって見込みより多くの件数が設置されており、今年度中に達成する見込みである。

### (都道府県知事の所見)

東日本大震災により生活排水処理状況が大きく変化したことが達成状況に影響を及ぼしたと思われる。住民の住環境整備は今後も続くことが想定され、下水道や浄化槽等の整備がますます求められると考えられることから、住民の汚水衛生処理が図られ生活排水処理状況が改善することを期待したい。